

一人は万人のために
万人は一人のために

2018年11月16日現在

組合員数 45,421人
出資金 13億9,810万円

次号は2月発行となります

からだくらし

発行所

 広島医療生活協同組合

〒731-0121 広島市安佐南区中須二丁目19-6
TEL(082)879-8124 FAX(082)879-8182

機関紙編集委員会

※病院、診療所の電話番号は6面にあります

ホームページ www.hiroshimairyo.coop

健康まちづくりセンター(旧 組織部)Eメール
sosikibu@urban.ne.jp



謹賀新年 2019.1.1

広島市は161本の被爆樹木を登録している。
生き残った木は、原爆の熱線で傷ついた側の成長が遅いため、祈るように爆心方向に頭を垂れている。
爆心1120m広島城の堀北にあるクスノキは陸軍幼年学校の火災が燃え移り、爆心と反対側におおきな損傷をうけたため逆方向に傾いているが成長を続けている。



二〇一九年あけましておめでとうござい
ます。
昨年は甚大な豪雨土砂災害があり、復興のためにみんなが奮闘しました。カープの三連覇は大きな励みとなりました。
今年は消費税10%への増税が予定されており、安倍政権は憲法改定、沖縄の民意を無視した辺野古新基地建設、原発再稼働など、国民の命と暮らしを脅かす政策を推進しようとしています。
医療生協をいっそう深く地域に根を張った存在にして、みんなで力をあわせて命と暮らし、平和を守るため頑張りましょう。



広島医療生活協同組合
代表理事理事長
青木 克明

新年のご挨拶

広島医療生活協同組合

代表理事専務理事 齊藤 孝司

二〇一八年は、医療福祉生協の地域包括ケアの実現の活動が前進しました。特に、他団体と連携した地域のつながりづくりが大きくひろがりました。

地域包括支援センターと対応する支部の懇談が各地で行われましたが、そのなかで、支部ニュースに地域包括支援センターを紹介する記事を掲載したり、くらしの学校の講師依頼に快諾いただいたり、百歳体操の取り組みとともに、いつそう協力関係が深まりました。その他にも、各地でJAや地区社協などと、介護予防、子ども食堂、健康エックなどで連携協力がすすみました。

二〇一九年はこうした活動をさらに発展させ、私たち広島医療生協が地域になくてはならない存在として、その価値がさらに高まるよう地域の組合員のみなさんとともに、奮闘したいと思います。

広島共立病院

院長 村田 裕彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年は西日本豪雨災害を始め、大きな自然災害が多発しました。災害は忘れぬうちにやってくる昨今、新たな災害への準備をしておくことが求められます。

広島共立病院は、新病院に移転して早五回目のお正月となります。新病院では、救急医療・リハビリテーション・緩和ケア・ヘルスプロモーションを医療活動の重点課題として取り組んでいるところです。地域医療と地域包括ケアを支える地域密着病院として、地域の皆様が安心して暮らせる明るいまちづくりに尽力致したいと存じます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新春を寿ぎ

謹んでお慶びを

申し上げます

津田診療所

所長 木山 茂

明けましておめでとうございます。津田診療所は、今年開設一〇六年目を迎えます。昨年は、皆様のご協力を得て、二十一年ぶりの診療所祭りを開催することができました。この場を借りて謝意を表します。

無口だがい思いやりがあったという津田侃二(かんじ)先生、“みんな平等”を口ぐせに第一線医療に身を捧げた津田平太郎先生。両先生や周囲を支えた協力者の方々の生き様を継承しながら、この安佐北区可部の地で、“孤立させない”“追い詰めない”“力を合わせて支えあう”医療福祉事業をすすめていきたいと思えます。よろしく願います。

沼田診療所

所長 西原 一樹

あけましておめでとうございます。

沼田診療所は、一九八九年十月に開院しました。今年の十月で三十周年を迎えます。それを機に、盛大に三十周年記念健康祭りを開催しようと企画中です。皆さんにたくさん参加して楽しんで頂けるように準備していくので、期待していて下さい。

今年も「ぬましん」をよろしく願います。

あすなる生協診療所

所長 井口 光

あすなる生協診療所の、デイサービスに、かなり高齢の女性がいらっしゃいます。夏場は毎年、県北の施設で避暑を過ごします。今年、その施設で肺炎になったときに、その施設長は、付属病院の医師に、ぜひたいに救命・延命するよう指示したそうです。(病院の、付属施設というのが正確かもしれません)無事肺炎は治って、現在もデイサービスを利用されています。現在の年齢は、一一〇歳と一カ月です。一一〇歳までなんとか生きてもらわないといけない、その施設長は考えたのだらうと思います。よく考えると、不思議ですけれどもなんとなくわかる気もします。

「先生、もうトシです。生きているのかどうかもよくわかりません」と言われますが、食欲はあり、お元気そうです。

あけましておめでとうございます。

本年もよろしく願います。

ふれあいセンター協同

事務長 藤代 えり

あけましておめでとうございます。

昨年は組合員、地域の皆さまに今まで以上にご支援いただき誠にありがとうございました。おかげさまで十月二十八日の「協同ふれあいまつり2018」も五五〇名の方々にご参加いただき、ふれあいセンター協同らしいまつりが開催できました。

高齢者が地域で安心して住み続けられるために、私たちに何ができるかを常に問い続けるなかで、気軽に出入りできる事業所を目指そうということが当事業所の職員およびふれあい地区組合員の総意となりました。

どうぞこれからもこんなことができたらいなという様々なご要望をお寄せください。一緒に夢をかなえてまいりましょう。

コープ共立歯科

所長 重平 哲哉

新年明けましておめでとうございます。

昨年の九月にコープ共立歯科は開設二十周年を迎えました。健康まつりでの催しは台風の影響により中止となり残念でしたが、その代わりとして今年の一月に記念事業を行う予定です。あらためて、この二十年間に多くの患者様、組合員さんに支えてもらい、法人内では多職種で共働しながら前進してこれたのだと実感しています。

コープ共立歯科の職員数が三十名を超えました。職員間のつながりはもとより、法人内での連携の強化、地域への発信を拡げて行きたいと思えます。コープ共立歯科は、「医療・介護・街づくり」と生活者の視点を大事にしています。そして患者様にいつまでも寄り添う歯科です。

本年もよろしく願います。亥の年、皆様のご健康とご多幸をお祈りします。

地域介護相談所

所長 岡田 美杉

新年あけましておめでとうございます。
昨年は、介護保険サービスの利用者負担の三割導入など、利用者負担がより強いられる制度になってきていると感じた年でした。
一方、地域に目を向けると、地域包括支援センターと地域の方との共同で、ささえあい活動や体操教室の立ち上げなど、地域づくりはすすんできています。

私たちの職場は日々、地域に出かけ、くらしの困りごと、悩みごとが一步でも改善するよう利用者さんやご家族の支援を行っています。この取り組みにおいてくらしの専門家である組合員さんが地域にいるということは強みだと思っています。

今年度も、専門職として地域の方と同じ目線に立ちながら、医療・介護と組合員さんとの連携をすすめていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

訪問看護ステーションえのかわ

所長 古本 理恵

あけましておめでとうございます。

二〇一九年、平成は終わり新しい歴史が幕を開けます。

どんな年になるのでしょうか。

二〇一八年は大きな災害があり、日常生活が穏やかに送れることが幸せと痛感しました。

利用者さんが、日々穏やかに自分の意志を尊重しながら生活できる様な援助を行いたいと思います。

また、昨年よりもっと地域に出かけて組合員さんとの関わりを深め、何かあればえのかわに声をかけてもらえような事業所になれるよう職員一丸となり頑張っ

て行きたいと思っています。
本年もよろしくお願い致します。

共立ひよこ・どんぐり保育園

園長 脇 千明

新年あけましておめでとうございます。
昨年は、四月に待機児解消の為の施設整備費補助を受け、六十名定員の共立どんぐり保育園(分園)を開園しました。開園当初から三歳未満児の定員は埋まり(十二月現在四十二名入園)待機児童問題の深刻さを感じたスタートでした。

そんな中、国は二〇一九年十月の消費税率10%の増税に合わせて幼児教育・保育の無償化するとしています。保育の無償化は保護者や保育関係者の願いです。しかし、給食費を無償化の対象から外し実費徴収すること、財政負担を市町村に強いことになり保育の質的量的拡充が停滞するのではなど様々な懸念の声が上がっています。

子どもの貧困状況を考えるとすべての子どもの給食費の公費負担こそ必要です。待機児童の解消や、保育士の処遇改善等の課題も山積する中、現状から後退することのないよう、保育・幼児教育の充実を求めて声を上げていきたいと思っています。

もみじ訪問看護ステーション

所長 道木 俊光

皆様と共に新しい年を迎えることが出来、決意も新たにスタートしたいと存じ上げます。もみじ訪問看護ステーションも皆様の御陰をもちまして、無事に新年を迎えることが出来ました。

昨年度は、緩和ケア病棟との連携構築に努めるなど、多くの御利用者様の受け入れを行いました。『もう一度、あの家に帰りた...』『安心して、自宅で過ごしたい...』それぞれの想いをかたちに出来るよう、今後も御利用者様・御家族様の声に少しでも応え、共に喜び、共に分かち合い、そして、共に歩んでいきたいと考えます。

今後とも、もみじ訪問看護ステーションをよろしく願います。

メディカルフィットネス共立

課長 楠岡 智史

新年あけましておめでとうございます。

メディカルフィットネス共立は、組合員皆様のお陰を持ちまして、今年六月で十周年を迎える事となりました。組合員の皆様、運営へのご協力ありがとうございました。現在は会員数約六五〇名のフィットネスクラブとなり、ご高齢の方々及び体力に自信のない方々にも安心してご利用いただいております。

私共スタッフ一同は、ご利用の皆様から毎日イキイキとしたパワーをいただいています。フィットネスを通じて運動が生活習慣の一部となった皆様からは、健康面だけでなく私共以上のパワフルさを感じています。『私達も負けてはならない!』と人生の大先輩方々に日々刺激を受けております。

これから運動をはじめようと思っている方、お気軽にメディカルフィットネスにお立ち寄りくださいませ。そんな皆さんをメディカルフィットネス共立はお待ちしております。



協同短期入所生活介護事業所

所長 成相 育子

新年明けましておめでとうございます。
協同ショートは今年五年目を迎えます。

多くの方に支えていただき迎えることができました。ありがとうございます。

私は、昨年七月十六日から所長として勤めさせていただいております。

今まで医療現場で二十一年・介護職は初めてです。

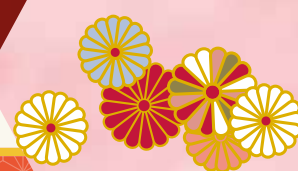
介護現場でのスタッフは、経験年数豊富で認知症の方などへの対応が素晴らしいと感じており、私も学ばせていただいております。私のモットーは「職員も楽しく仕事をしよう」です。「楽しく仕事をすれば利用者のみなさまにもよりよい対応ができる」と思っています。

ショートの介護は、なるべく家での生活がショートでできるように対応させていただいています。その人が住み慣れた家に帰っても生活できるように考えて行っています。

地域の中でなくてはならないショートを目指し、地域の居宅・多職種と連携を取りながら、まだまだ新米ですが一生懸命がんばります。

職員一同頑張つてまいりますので、今年も協同ショートをよろしく願います。

った2018年の取り組み紹介



スポーツ吹き矢講習会

高齢者運動



35人で盛り上がった「かがやく会 グラウンドゴルフ大会」

災害支援

西日本豪雨災害の
支援ボランティアに参加



地域



新入職員歓迎会(毘沙門台支部)

広がる子ども食堂

家でも学校でもない地域の温かい居場所
「ワイワイ広場」



子育て



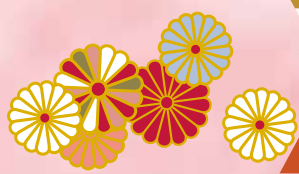
「共立どんぐり保育園」開所

サークル活動



武田山頂上(登山サークル)





出会い、つながり、絆の深まり

平和



「平和行進」～核兵器廃絶を願って

健康づくり



「健康チェック」西条酒まつり

まつり

「三次健康まつり」
子ども神楽



がんは
広
深め
人の

つながり広がる サロン



「根の谷サロン」
(津田地区)



「心のとまり木茶ろん」
(緑井支部)



「西原9丁目サロン」
(百歳体操)



11月 理事会だより

(11月17日開催)

特別増資運動の提案

生協強化月間では、仲間ふやしを中心に各支部や事業所が奮闘しました。

一方で、経営が厳しく、上半期の到達で、経常剰余は6,700万円の赤字、予算差5,800万円となりました。現預金も、期首と比べて5,800万円減少となっています。また、今年度は、出資金減資が4,000万円を超え、純増が現時点で1,500万円程度に留まっています。年度末の減資を加えると、年間で大きな出資金減となる可能性があります。そうなると、さらに資金の減少に拍車をかけることになります。これを防止するためには、何よりも経営を改善し、下半期を予算の超過達成をめざし努力することが第一であることは言うまでもありませんが、生協の強みを發揮して、組合員の増資運動で経営を支えることも大きな力となります。12月を特別増資運動期間として増資目標を設定して力を集中して取り組むことを提案します。

目標 12月1ヶ月間で純増 1,000万円

【10月の経営状況】

経常剰余は2,543万円の黒字で予算を330万円上回る

10月の事業活動は経常剰余2,543万円の黒字で予算を330万円上回りました。事業収益が5億円を超え、5億931万円で予算を1,312万円上回りました。一方、事業費用は330万円予算を下回った結果で予算達成となりました。予算達成は今年度2回目です。10月末までの経常剰余は累積で△4,159万円、予算差△5,494万円です。



お知らせ

年末年始 休診のお知らせ

	12/28 (金)	12/29 (土) ~ 1/3 (木)	1/4 (金)
広島共立病院	平常通り	休 診	平常通り
津田診療所			
沼田診療所			
あすなる生協診療所			
コープ共立歯科			

クイズ回答
ハガキより

組合員の声

夫が熱を出し、沼田診療所を受診しました。西原Drはじめスタッフの皆さんに優しくしていただき、心強かったです。感謝!! (伴東、U・H)

ふれあいセンター協同でゴスペルを歌っています。先生も歌仲間も最高です。(西原、F・T)

沖縄の民意を無視する安倍政権の強権姿勢には本当に怒りを覚えてしまいます。(口田、T・I)

歴史紀行が大好きです。武田山には何度も登りましたが、今一度歴史を感じ乍ら登ってみます。(亀山南、H・I)

クロスワード・クイズをいつも楽しみに解いていました。山下登様、長年ありがとうございました。(口田南、H・Y)



投稿募集中! 氏名(ふりがな)・住所・年齢・電話番号をご記入の上、下記へ

- 絵手紙・川柳・写真・俳句・短歌など、ジャンルは問いません。
 - 我が家の宝物…家族やペット・花・農作物・作品などなど、皆さんの大切な宝物をご紹介下さい。写真と合わせてコメントをお願いします。
 - QRコードを作成しました。携帯・スマホなどの端末からもお気軽に応募ください。
 - 皆様からのご意見や要望などもお気軽にお寄せください。
- ※投稿いただいた文章は、内容を変えずに、表現を変更することがありますので、ご了承ください。
※本紙は広島医療生協ホームページに掲載されます。
※いただいた原稿などは原則お返ししません。
メール:sosikibu@urban.ne.jp
郵送:〒731-0121 広島市安佐南区中須二丁目19-6 広島医療生協 健康まちづくりセンター
連絡先: TEL (082) 879-8124 FAX (082) 879-8182

広島医療生協 の 介護・福祉事業案内

あすなる生協診療所 ☎(082) 845-5234
・デイサービス(通所介護) ☎(082) 841-2021

ふれあいセンター協同 ☎(082) 874-0455
・デイサービスひまわり ☎(082) 874-4085
・居宅介護支援事業所 ☎(082) 874-4115
・小規模多機能ふれあい協同 ☎(082) 555-5188
・ヘルパーステーション虹 ☎(082) 225-7790

・広島市安佐・安佐南地域包括支援センター ☎(082) 879-1876
・広島共立病院デイケア(通所リハビリ) ☎(082) 879-1111(代)
・広島医療生協居宅介護支援事業所 ☎(082) 879-1870
・もみじ訪問看護ステーション ☎(082) 877-0231
・メディカルフィットネス共立 ☎(082) 879-1126
・協同短期入所生活介護事業所 ☎(082) 225-7188



・共立ひよこ保育園 ☎(082) 831-8388
・共立どんぐり保育園 ☎(082) 577-1152

津田診療所 ☎(082) 812-2048
・津田診療所居宅介護支援事業所 ☎(082) 812-2048
・デイケア(通所リハビリ) ☎(082) 812-2048(代)

三次地区
・訪問看護ステーションえのかわ ☎0824-64-8444
・居宅介護支援事業所えのかわ ☎0824-64-8444

川柳・俳句・短歌コーナー

編集委員会選(第一〇一回発表!)



川柳

腹時計 晩酌だけは 狂わない

中筋 湯浅 博明

デイの日は ゲーム 楽しく 夜ぐっすり

あすなるデイサービス 祖川 アサエ

わが猫に 支え支えられ おだやかに

東広島市 田原 里依子

俳句

サルビアの 真赤に燃えて 秋深し

口田 山本 チズエ

もみじの手 どんぐりひとつ おみやげよ

伴南 石井 妙子

毘沙門の鐘のこだまや 暮の秋

緑井 小杉 慶江

俳句 2019

秋日和娘と行くや京都へと

河野美智子

初鴨の川面直ぐに夫婦かな

桑升 幸子

山越えの友と歓声山装う

竹本 旬子

石榴割れ見つめて叫ぶ戦争NO!

安永 道子

週末や家路に続く星の空

吉井美智子

河川敷鳩も並んで秋日和

野田八代子

葛の花しずかにぬらす山の雨

中村 絹枝

持ち上げて喜び合うや甘諸掘り

寺本 東子

空見上げ小春日だのと夫言ふ

伊達 和恵

毛糸編む我れにとまどい覚ゆかな

石塚 節子

《お詫び》

今回は『新年号』ということもあり、皆さんが楽しみにされていた『漢字クイズ』は紙面の都合上、掲載できませんでした。次回(2月号)に掲載させていただきます。



◆クイズ十月号の正解は、「和光同塵」(才気を隠し、凡庸に暮らすたとえ)でした。

①浦島・桃・金 ②鼓舞 ③野間
峻祥 ④樹齡 ⑤球菜 ⑥寛容
⑦堪忍袋 ⑧有袋 ⑨一時・一生 ⑩六道 ⑪摘入 ⑫鳳仙花
⑬笹竜胆 ⑭過剰 ⑮心酔 ⑯維納 ⑰手繰 ⑱伊勢・岩清水・賀茂 ⑲森嶋外 ⑳琴線 ㉑高張
㉒番 ㉓緑麻

応募総数は六十五通でした。

当選者(敬称略)

迫田 文子(可部町)

坂井 好子(祇園)

土山 智(安東)

賀上 康彦(大町西)

伊川 康子(伴東)

津田診療所の「健康まつり」 10/14

可部支部



▲ハーモニカ演奏

10月14日に開催された可部まちなみで津田診療所は健康まつりとして地域のみなさんの健康づくりに貢献し、組合員と職員の交流の場として取り組みました。

職員は健康測定（体内AGEs糖化度測定、骨密度など）を実施し、31人が受診されました。組合員は手作りカレーやおはぎなどのバザーを行いました。

2階のコーナーでは絵手紙やパッチワークの展示がありました。組合員による「うたごえ」やフラなどの催しが行われました。

木山医師による“心を動かされたカバー曲”のCD紹介や花田医療生協事務局長が現在の津田診療所が32年前にリニューアルした当時の話をされ「誰もが安心して暮らせるまちづくりをしていくために地域連携の拠点の一つとして、地域のみなさんが寄れる場所にしてほしい」という期待が表明されました。

今回のまつりは職員と可部支部、亀山支部の組合員、根の谷サロン、木曜クラブ、絵手紙サークル、パッチワークサークル、ハーモニカサークルなど津田診療所を中心に活動している組合員とうたごえの演奏に医療生協の職員2人が加わってもらったことなど大きな輪が広がったと思います。この広がりが医療・介護の厳しい現状を跳ね返す力になっていけば良いと思います。

（清水てい子）



▲バザーコーナー

広島医療生協「オリジナルキャラクター」決定! 10/23

名前は「ギョッとちゃん」です

広島医療生協ではこれまでオリジナルキャラクター制作にあたりデザインを募集していましたが、厳正な選考の結果、小学六年生の沼津心暖（みのん）さんのデザインに決定しました。10月23日（火）に感謝状と記念品が授与され、感謝状を渡した斉藤専務理事からは『ありがとうございました』と感謝の言葉が述べられました。プロの手でイラスト化されたデザインを見た心暖さんからは『かわいい!かわいい!』と感想がありました。心暖さん曰く、ギョッとちゃんは“地球をギョッとすることで「平和・ふれあい」を表現し、平和だから健康でいられ、手の色の違いは差別のない地球の平和を表現”しているそうです。これから広島



医療生協のキャラクター「ギョッとちゃん」として色んな場面に登場してくると思いますので皆様どうぞ宜しくお願い致します。また、今回デザイン案募集に応募してくださった皆様ありがとうございました。（選考から漏れた応募者にも図書カードが進呈されました）

「協同ふれあいまつり」 10/28

協同ふれあいまつり実行委員会



2018年度の協同ふれあいまつりが10月28日（日）に開催されました。近年で最高の550名余りの参加で盛大に催す事が出来ました。

職場毎の出店や各支部の出店、また、ステージでは活動の発表の場として、楽しい構成で参加されました。皆さんの協力のおかげと感謝しております。

ふれあいまつりの特長として、3階の小規模多機能で利用者さんが明るく広い部屋で自由にされている様子を見学出来たり、健康チェックでは、骨密度チェック、体脂肪・体年齢測定、足指チェッカーくんと、他のまつりではない協同ならではのコーナーも作り、多くの方が受診出来るのを楽しみにして来られています。一喜一憂され、今後の生活の参考になると言われていました。まつりの終りには、赤白の餅が配られ喜んで頂きました。

今後も楽しみながら健康作りに役立つまつりを続けて行きたいと思っています。



人と人とのきずなこそ希望 第32回「日本高齢者大会」 in熱海開催 11/25-26

みんなで老後を考える会



第32回日本高齢者大会が11月25～26日の両日、熱海市で開かれ、広島県から26人、全国から3,500人が参加しました。

初日の全体会のハイライトは同志社大大学院教授、浜矩子さんの記念講演。毒舌で知られる浜さんは、揺れ動く世界経済のなかで、三つの綱引きがされており、「人と人とのきずなこそが輝く希望だ」と強調しました。

熱海高校エイサー部の演舞には会場全体が沸きました。（上の写真）沖縄の伝統ある演舞を、若者が一杯演じたことは本当に感動でした。

「将来を担う若者をはじめすべての世代の連帯を!」との大会決議を採択しました。

2日目は分散会。憲法、沖縄、福祉から健康体操、お口の健康まで多彩なテーマで学習、交流しました。

来年は福島県で開催します。未だ復興途上にある現地から学び、連帯する福島大会。みなさん、ぜひ参加しましょう。



十月の末に中国の四川省・雲南省に夫婦で旅行する機会がありました。四川省には何回か旅行していますが、雲南省には二十七年前に昆明・石林に旅行した以降、二回目です。今回は、昆明・石林以外、昆明から五三〇キロ奥の麗江に行きました。麗江古城は十三世紀後半、南宋の末ころから元代の初めにかけて、都城として建設。公的には「大研鎮」と言う。二階建ての木造瓦葺の商店がぐるりと立ち並び、石畳の道、石の橋、町の中を清らかな水が音楽を奏でるように流れています。東巴（トンパ）文字や音楽など、ナシ族独自の文化を残しています。一九九七年に世界遺産に登録された後、国内外から年間四、〇〇〇万人もの観光客が訪れます。次回、機会があれば一週間程度、長期滞在をしたい西南中国の麗江古城です。（H・M）

虹の旗